

大津市中心市街地活性化協議会支援業務の成果と課題について

1. 大津市中心市街地活性化協議会支援

(1) 支援の概要

協議会立ち上げにおける協議会の体制及び運営方法などの提案を行うとともに、協議会の企画、資料及び議事録作成を実施しました。

〈協議会開催日：全 8 回〉

平成 20 年 1 月 23 日、平成 20 年 2 月 8 日、平成 20 年 2 月 22 日、平成 20 年 5 月 1 日、平成 20 年 7 月 3 日、平成 20 年 10 月 3 日、平成 20 年 12 月 4 日、平成 21 年 3 月 10 日

(2) 支援の成果

大津市中心市街地活性化基本計画の進行管理及び調整役である協議会がしっかりと機能するよう支援を行いました。協議会の下にプロジェクト会議を立ち上げ、各プロジェクト会議での協議の成果を協議会において共有し、平成 20 年度及び平成 21 年度事業の確認及び補助金活用に関する承認など、協議会における議論や意思決定を円滑に進めることができました。

(3) 支援の課題

平成 22 年度以降の事業具体化に向けた新たなプロジェクト会議の設置や現在のプロジェクト会議の再編を検討する必要があります。また、今後中心市街地活性化区域内で新たに計画される公共事業及び民間事業をどのように情報収集していくかという方法を確立し、常に中心市街地における事業を調整し、各事業が最大の効果を達成できるようにシステム化していくことが求められます。



2. 大津市中心市街地活性化協議会プロジェクト支援

(1) 支援の概要

プロジェクト会議の体制及び運営方法などの提案を行うとともに、実際のプロジェクト会議における企画、事業提案、資料及び議事録作成を実施しました。

〈プロジェクト会議開催日：全17回〉

①エコセンタープロジェクト（4回）

平成20年3月27日、平成20年4月18日、平成20年5月14日、平成20年12月2日

②おもてなし情報発信プロジェクト会議（4回）

平成20年5月12日、平成20年5月20日、平成20年6月25日、平成20年12月2日

③地域ICカードプロジェクト（3回）

平成20年6月4日、平成20年7月9日、平成20年8月13日（京都KICS視察）

④町家利活用プロジェクト（3回＋イベント支援3回）

平成20年6月6日、平成20年6月27日、平成20年11月27日

※大津百町市

第1回：平成20年12月5日、第2回平成20年2月11日、第3回平成21年3月21日

(2) 支援の成果

各プロジェクトでの検討をまとめ協議会に報告するとともに、具体的な事業に取り組んだ結果、以下のような成果を達成しました。

①エコセンタープロジェクト

琵琶湖湖畔活用エコセンター事業として、アーカスの一部リニューアルによる集客交流施設整備に向けた構想及び事業体制の提案を行い、事業実施への調整を行いました。

②おもてなし情報発信プロジェクト

中心市街地で実施されているイベントの連携を促し、PR活動の共同化や集客の強化を実現しました。また、インターネット上での「大津まちなか食マップ」に関する企画提案を行い、株式会社まちづくり大津の協力によりホームページをオープンさせ、現在運営が行われています。

③地域ICカードプロジェクト

先進事例視察を含むプロジェクトメンバーでの勉強会を開催し、地域ICカードのあり方や実現の方法などについて検討し、来年度以降の具体化に向けた準備を行うことができました。

④町家利活用プロジェクト

町家利活用や大津百町での取り組みを示す「のぼり」を企画・デザインするとともに、旧町名の看板設置に向けた議論を行い、来年度以降事業実施に向けた方向性を出すことができました。また、「大津百町市」と題した新しいイベントの企画・運営方法の提案、出店者交渉、当日イベント運営支援を行い、多くの集客と効果を上げることにつながりました。

・琵琶湖湖畔活用エコツーリズム事業のイメージ



エコセンターコア
湖の駅整備による波及効果
(琵琶湖湖畔エコツーリズム事業)

・大津まちなか食マップホームページ



・大津百町市の様子



(3) 支援の課題

各プロジェクトにおいては、具体化に向けた議論が進行中のものがあります。それらを今後どのように進めていくのかについて継続的な議論が必要となります。

① エコセンタープロジェクト

エコセンターコアの仕組みや協力団体との調整、観光コミュニティビジネス創出

② おもてなし情報発信プロジェクト

インターネット活用イベントカレンダー等仕組み構築、びわ湖ホールとの連携イベント

③ 地域ICカードプロジェクト

地域ICカードの実現性検討

④ 町家利活用プロジェクト

町家じょうほうかんによる空き町家見学会や具体的な活用事業の掘り起こし

3. まちづくり事業コンサルティング

(1) 支援の概要

「社会教育会館テナントミックス施設整備事業」「琵琶湖湖畔活用エコツーリズム事業」について、経済産業省の補助金活用に向けた事業構築及び申請に関する事前相談への対応等支援を行いました。

<支援の回数等：全12回>

①事業全体に対する支援

平成20年10月14日、平成20年11月12日、平成20年11月28日

②社会教育会館テナントミックス事業

平成21年1月6日、平成21年1月16日、平成21年2月6日

③琵琶湖湖畔活用エコツーリズム事業

平成20年12月10日、平成20年12月16日、平成21年1月8日、平成21年1月15日、平成21年2月9日、平成21年2月24日

(2) 支援の成果

事前相談及び経済産業省からの指摘・質問事項への対応を支援したことにより、すべての事業について「戦略的中心市街地(中小)商業等活性化支援事業費補助金」の活用が可能となりました。以下各事業概要などを示します(事業費は概算です)。

①社会教育会館テナントミックス整備事業(1/2補助)

活性化の目標である「大津駅前・湖岸を結ぶ都市機能の集約・複合化」を図るため、歴史的に価値のある建物を保存しながら、魅力ある商業施設として再生し、活性化に寄与する店舗をオープンします。

総事業費：48,000千円 補助対象額：40,500千円 補助金申請予定額：20,250千円

②琵琶湖湖畔活用エコツーリズム事業(1/2補助)

大津市中心市街地活性化基本計画の基本的な方針「琵琶湖を生かす観光と環境共生のまちづくり」に基づき設定された目標「琵琶湖湖岸・港における集客・交流機能の強化」を達成するための最重要事業です。

総事業費：162,000千円 補助対象額：1244,670千円 補助申請予定額：62,230千円

(3) 支援の課題

各事業については、経済産業省との事前相談により補助金活用が可能となったが、これからは、補助申請に向けた準備が必要になります。そのため各事業主体内における確実な合意形成などが求められます。また、平成21年度事業に関するコンサルティングは実施できたが、平成22年度以降に実施を予定しているもの、また実施可能な事業の掘り起こし等が今後の課題です。